

杉崎千洋教授 業績一覧

1. 論文

- (1) 「地域における医療・福祉サービスとソーシャルワーカーの課題—在宅ねたきり老人を対象に—(上・下)」『日本福祉大学研究紀要』第71号(第2分冊)、第75号、1987年、1988年。
- (2) 「住民参加型在宅福祉サービスの可能性と限界—神戸ライフ・ケア協会におけるサービス提供者の確保・養成の取り組みを中心に—」『日本福祉大学社会福祉学会福祉研究』第63号、1990年。
- (3) 「住民参加型在宅福祉サービスはホームヘルプサービスの中核になりうるか?—名古屋市『地域福祉を考える会』協力員の業務・意識調査と利用者実態調査を基にした実証研究—」『日本福祉大学研究紀要』第85号(第1分冊)、1991年(共著)。
- (4) 「社会福祉援助に必要な患者のスクリーニングシステム—愛知県江南市・昭和病院調査より—」『日本福祉大学研究紀要』第92号(第1分冊)、1995年(共著)。
- (5) 「ホームヘルパーの業務内容と支援システム—豊田市におけるホームヘルパー業務日誌の分析より—」『日本福祉大学社会科学研究所年報』第95号、1996年(共著)。
- (6) 「利用者・家族の行動に適合した社会福祉援助へのアクセス促進システム—ケースマネジメント研究に欠けている視点—」『日本福祉大学専門学校紀要』第2号、1998年。
- (7) 「プライマリケアにおける社会福祉援助必要者の早期発見・スクリーニング—米国での基準開発事例の検討—」『福祉文化』第2号、2003年。
- (8) 「医療ソーシャルワーカーの働きを検証する38—地域連携におけるMSW支援評価MSW自己評価と患者・家族満足度調査から—」『病院』68巻10号、2009年。
- (9) 「がん対策推進計画策定・評価過程における患者参加測定の試み—島根県がん対策推進協議会議事録分析より—」『医療社会福祉研究』第21巻、2013年。
- (10) 「がん対策推進計画策定・評価への患者参加のアウトカム評価—島根県がん対策推進協議会における委員提案の反映状況分析より—」『山陰研究』9巻、2016年。

2. 著書

- (1) 「社会福祉援助へのアクセス」『高齢者福祉の組織心理学』福村出版、1994年。
- (2) 「社会福祉政策の動向と在宅ケア」「“住民参加型”在宅福祉サービスが発展し続けるために—『地域福祉を考える会』スタッフの業務・意識調査と利用者実態調査を基に—」『介護マニュアル(第2版)』中央法規出版、1994年。
- (3) 「退院計画プログラムの実践」『新しい在宅援助の提案—その考え方の提示—』杉山書店、1995年。
- (4) 「ボランティアからの出発」「オンブズマンとして、情報発信者として」『どうしますあなたと私の老後—名古屋の女性がとりくむ「介護の社会化」—』ミネルヴァ書房、1997年。
- (5) 「運動史・時期区分」「運動史に見る自立観の変遷—まとめにかえて—」『自立を選んだ障害者たち—愛知県重度障害者の生活をよくする会のあゆみ—』愛知書房、1998年。
- (6) 「アメリカのプライマリケアにおけるケースマネジメント—心理社会的問題を持つ患者の発見・スクリーニングを中心に—」『国際医療福祉最前線』勁草書房、1999年。

- (7) 「退院計画と援助の継続性 要介護患者の居所の移動と連続的ケアマネジメント」『地域ケアと退院計画—地域生活を支える援助のあり方を探る』萌文社、2000年。
- (8) 「社会福祉における早期援助論—到達点の確認と新しい考え方の提示」『社会福祉の思想と制度・方法』永田文昌堂、2002年。
- (9) 「地域医療実践にみる医療ソーシャルワーカーの役割」『医療ソーシャルワーカー新時代—地域医療と国家資格』勁草書房、2005年。
- (10) 「地域ケアシステムの再構築と地域福祉ステーション—医療依存度の高い在宅者支援事例の分析から」『松江市の地域福祉計画—住民の主体形成とコミュニティソーシャルワークの展開』ミネルヴァ書房、2006年。
- (11) 「病院改革と地域ケアシステム—急性期病院～慢性期病院～地域・在宅をつなぐ地域連携—」「中間ケアのアウトカム評価研究—利用者・家族の急性期病院～慢性期病院～自宅退院6か月後の追跡調査より—」『医療制度改革と地域ケア—急性期病院から慢性期病院、そして地域・在宅へ—地域ケアシステム・シリーズ②』光生館、2009年。
- (12) 「『地域包括ケア』における退院支援の課題—イギリスにおける高齢患者の社会的ネットワーク復帰研究から—」『地域包括ケアシステム—その考え方と課題—地域ケアシステム・シリーズ①』光生館、2011年。
- (13) 「地域包括ケアの理念と課題」「見守りネットワークによる緊急時対応をした人とその構造—傷病と虐待の高齢者の第一発見者、対応者、地域包括支援センターへの連絡者の分析より—」『単身高齢者の見守りと医療をつなぐ地域包括ケア—先進事例にみる支援とネットワーク』中央法規出版、2020年。

3. 調査報告

- (1) 「社会福祉援助必要者の早期発見・スクリーニング—プライマリケアにおけるシステムと効果—」『社会福祉学』第43—1巻、2002年。
- (2) 「中山間地域における要援護高齢者への支援—生活支援施設入退所者の分析から—」『中山間地域における包括的なサービス供給システムに関する調査研究事業報告書』2004年。
- (3) 「中山間地域における要援護高齢者の生活の継続性—町村から転出した高齢者の経年変化の分析—」『中山間地域における包括的なサービス供給システムに関する調査研究事業報告書』2004年。
- (4) 「医療・介護提供体制の再編と『つなぐ仕事』の変化—地域ケアシステムの再構築をめざして—」『月刊総合ケア』第14巻・第11号、2004年。
- (5) 「事例報告 病院の地域連携と医療ソーシャルワーカーの組織・業務の変化—島根県・松江二次医療圏域内2病院の調査から—」『福祉文化』第4号、2005年。
- (6) 「医療ソーシャルワーカーの組織・業務への示唆と新たな政策・サービス開発」「患者支援のための院内システム、院外ネットワークと医療ソーシャルワーカー」『病院における地域連携と医療ソーシャルワーカーの組織・業務の変化—患者支援のための院内システムと院外ネットワークの構築・運用（平成16・17年度科学研究費補助金国内調査研究報告書）』2006年（共著）。
- (7) 「知的障害者グループホームにおける『関係支援』事例調査報告」『島根大学社会福祉論集』創刊号、2007年（共著）。
- (8) 「コミュニティ病院モデル評価研究—高齢者リハビリテーションの多面的評価とこれからの方向—」『イギリスにおける医療・福祉サービス連携による質確保と予算管理システムに関する研究（平成16年度～平成18年度科学研究費補助金研究成果報告書）』2007年。

- (9) 「全システムアプローチによる退院支援—退院遅延への罰則金支払い制度に関連する研究成果から」『イギリスにおける医療・福祉サービス連携による質確保と予算管理システムに関する研究（平成16年度～平成18年度科学研究費補助金研究成果報告書）』2007年。
- (10) 「中間ケアと医療ソーシャルワーカー支援に関する総合的・多面的評価研究—利用者・家族の急性期病院～慢性期病院～自宅退院6ヶ月後の追跡調査より—」『急性期病院～在宅の継続医療を保証する地域連携システムと医療ソーシャルワーカー支援評価研究—慢性期病院と在宅間の移行支援を中心に—（財団法人在宅医療助成勇美記念財団 2006年度在宅医療助成研究完了報告書）』2008年。
- (11) 「在宅療養継続支援システムの総合的・多面的評価研究—利用者の在宅～入院時～自宅退院6ヶ月後の追跡調査をもとに—」『急性期病院～在宅の継続医療を保証する地域連携システムと医療ソーシャルワーカー支援評価研究—慢性期病院と在宅間の移行支援を中心に—（財団法人在宅医療助成勇美記念財団 2006年度在宅医療助成研究完了報告書）』2008年。
- (12) 「イギリスにおけるコミュニティソーシャルワーカー—北アイルランドにおける実践とその評価を中心に—」『日本型コミュニティソーシャルワークの推進システムと実践方法の構築に関する研究（平成18-19年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書）』2008年。
- (13) 「病院救急部におけるソーシャルワークと不適切な入院回避」『医療・社会福祉連携による早期退院・地域移行促進と不必要な入院・入所回避策研究（平成19年度～21年度科学研究費補助金研究成果報告書）』2010年。
- (14) 「1年間の要介護状態発生からみた基本チェックリスト未返信者の特性—島根県雲南市介護保険データベースコホートをを用いて—」『平成25年度島根大学研究機構戦略的研究推進センター<重点研究部門> コホート研究プラットフォームを活用した高齢者難治性疾患予防研究成果報告書』2014年。

4. 概説書・教科書（いずれも共著）

- (1) 『標準看護学講座9 社会福祉』金原出版、1991年。
- (2) 『高齢者福祉Q & A』中央法規出版、1994年。
- (3) 『医療福祉概論』学文社、1997年。
- (4) 『社会福祉辞典』大月書店、2002年。

5. 翻訳（いずれも共訳）

- (1) 『スウェーデンの患者・障害者運動』（リニア・ガードストレーム著）の「障害団体」を担当。『日本福祉大学研究紀要』第63号、1985年。
- (2) 『ソーシャルワークとヘルスケア』（R・テラー、J・フォード著）、中央法規出版、1993年。
- (3) 『医療ソーシャルワークの実践』（M・バドウィ、B・ピアモンティ著）、中央法規出版、1994年。
- (4) 『国際医療福祉最前線』勁草書房、1999年。